

**国際芸術センター青森
2020年度春の展覧会会期の延長等について**

2020年度春の展覧会「いのちの裂け目 - 布が描き出す近代、青森から」は4月11日（土）から6月21日（日）までの会期を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開始日を延期し、ゴールデンウィーク明けの5月7日（月）から開会した。約1ヶ月の会期短縮となったが、経費の目処が立ち、青森市教育委員会からの借用物の延長が可となったこと、またACACを会場に予定していた「青森トリエンナーレ2020」が中止となったことを踏まえ、下記のとおり会期を延長及び今年度の展覧会スケジュールを変更する。

（展覧会会期）

2020年5月7日（土）～8月30日（日）【116日間】

※今年度の展覧会予定

・公募型AIR 変更前 6月17日（水）～9月22日（火）
変更後 9月16日（水）～12月22日（火）

（春の展覧会関連イベント）

◎鑑賞+ワークショップ「織り紙ファブリック」

6月21日（日）、7月25日（土）、8月9日（日）各定員5名

※展覧会を鑑賞してから、紙テープで織物の原理でタペストリーのような平面作品を作ります。
自宅から持ってくる色々な素材も織り込んで、オリジナルの作品に仕上げます。

◎遠藤薫「サタの生き方ー沢田サタ、戦後のベトナムを訪ねて」トーク収録

ゲスト：沢田サタ氏 聞き手：遠藤薫、倉島くらら

日時：2020年6月18日（木）14:00-15:00

会場：国際芸術センター青森（ACAC）展示棟ラウンジ（非公開）

※トークは編集後、YouTubeの当館チャンネルで一般公開（acacaomori）

概要：沢田サタ氏は、カメラマン・沢田教一氏に帯同し1960年代後半のベトナムに滞在、ベトナム戦争を経験されている。また帰国後は食への関心からフレンチ料理「さわだ」を開き、近年も写真展を開催するなど精力的に活動されている。今回は、聞き手にサタ氏のベトナム旅行に随行、彼女の写真展も企画されている倉島くらら氏も迎え、サタ氏が教一氏に出会った当時の三沢基地のことや、ベトナムでの経験、食に関する考えなどの思い出をお話いただく。サタ氏のことを深く理解する倉島氏と、ベトナム、食への関心など彼女と共通点の多い遠藤によるトークは、サタ氏の貴重な思い出を残すものとなるだろう。